

教えてはちくん!木づかい通信 Vol.18



大館市観光キャラクター

「はちくん」

※チェンソーマンVer.

テーマ

プレカットが無ければ
家が建たないことに

～予め(プレ)、切削(カット)で効率的な家づくり～

WOOD CHANGE! TOPICS:

「大館市産クリ床材～東京おもちゃ美術館・木育キャラバン～」

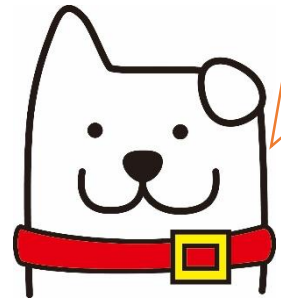
令和4年9月

産業部林政課

テーマ「プレカットが無ければ家が建たないことに」

教えてはちくん!

「目からウロコの木のはなし、P90~92」



かつて大工さんは下小屋で手鋸(てのこ)や鑿(のみ)を使って柱や梁にホゾやホゾ孔を刻み、加工した材料を建築現場に運び入れて、家の骨組みを組み立てていましたが、この刻み作業が、正確な形の継手や仕口を作らなければならず、多くの手間と時間がかかっていました。
この問題を機械化によって解決しようとして1975(昭和50)年ごろから登場してきたのが「プレカット」です。登場した当初は、手仕事を機会に置き換えただけの単純なものでしたが、その後のコンピュータ技術の進歩により生産システムが高度化され、日本全国で採用されるようになりました。当時深刻化しつつあった熟練大工さんの不足もプレカットの普及化に拍車をかけ、その結果、現在では構造用の木材の加工と言えば、プレカットが完全に主流になっています。

写真で見よう



写真1 手刻みされた曲がり材
(写真:林 知行 氏 提供)



写真2 プレカットされた木材の端部
(写真:林 知行 氏 提供)



写真3 プレカット加工機のドリル
※先端に特殊な刃物が付いています
(写真:林 知行 氏 提供)

⇒大工さんの刻み作業は失敗が許されないだけの経験と技能が必要で、それが大工さんたちの仕事の対する誇りでもあったわけですが、住宅生産の合理化という点では、加工時間の短縮、精度の高さ、工期の短縮などの多くのメリットがある、というのもプレカット普及化の背景でもあります。IT技術の発展無くして、木材加工技術の発展無し、と言っても過言ではないのでは…



大館市産クリ床材

大館市産クリ床材

～東京おもちゃ美術館・木育キャラバン～

令和4年9月24日～25日に開催された第32回大館市生涯学習フェスティバルにおいて、4年連続となる「木育キャラバン」が実施されました。キャラバンで使用している床材の一部は大館市産のクリ材が採用されています。床材の製造工程や利用例を紹介させていただきます。

東京おもちゃ美術館HP: <https://art-play.or.jp/ttm/>

床材の製造工程（藤島木材工業(株)・藤島林産(株)）

※「大館市産クリ床材」の製造工程写真ではありません。

散水装置

原木ストックヤード（置き場）

※乾燥による干割れ防止のため、冬期間以外は常時散水しています



原木製材工程



原木製材工程

原木製材工程

床材の製造工程（藤島木材工業(株)・藤島林産(株)）

※「大館市産クリ床材」の製造工程写真ではありません。



床材の製造工程（藤島木材工業(株)・藤島林産(株)）

※「大館市産クリ床材」の製造工程写真ではありません。



藤島林産(株)
村上 裕之さん

藤島林産(株)常務取締役
藤島 二三夫さん



広葉樹・フローリング 藤島林産(株)
ホームページ: <https://www.fujishima-l.com>

取材日: R4.6.27

クリ床材製作に携わったお二人からのメッセージ(藤島さん、藤嶋さん)

全国各地で開催される「木育キャラバン」で使用される床材の製作に携わることができ、とても嬉しく思います。子どもから大人までが木のおもちゃでの遊びを楽しんでいただきながら、今回製作したクリの素材の良さも感じていただけると嬉しいです。

ー ありがとうございます!!

塗装作業in東京おもちゃ美術館

写真提供：芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館



木育キャラバンで約8年ほど使用していた木製床ハリを入れ替えることになり、大館市産のクリ材を導入しました。クリ材はタンニンが多く、水と反応して黒いシミとなってしまう可能性があるため、東京おもちゃ美術館の関係者のみなさんで自然塗料の塗装作業を行いました。

「徳島県三好市木育キャラバン」にて大館市産クリ床材・初デビュー!! (R4.5.28~29)

写真提供: 芸術と遊び創造協会 / 東京おもちゃ美術館



大館市産クリ床材

農林政策課主査
松本 泰卓さん

農林政策課主任主査
木育担当 villager
山下 悟さん

農林政策課
木育担当
小松 由佳理さん

産業観光部長
松本 俊明さん

農林政策課長
石川 浩さん

三好市メッセージ

写真提供日：R4.9.21

三好市は徳島県の西部、四国ではほぼ中央に位置していることから「四国のへそ」と言われ、日本三大秘境の祖谷を中心にかずら橋やウォータースポーツなどたくさんの観光資源があります。

令和4年5月に三好市としては3年ぶりとなる木育キャラバンを開催し、大きな混乱もなく2日間で約1400名の方に来場していただきました。また、今回の当市のキャラバンで大館市産のクリ床材がデビューということを知りました。メインエリアに敷かせていただきましたが、カプラという積み木がクリ床材に崩れたとき、乾いた澄んだ音で、崩れるたび皆が振り返るほどでした。とても心地よい音でキャラバンが戻ってきたなど実感し癒されました。こういった縁から、大館市と何かが生まれるきっかけとなることを願っています。大館市からはかなり遠いですが、ぜひ一度お越しいただけたらと思います。

三好市HP：<https://miyoshi.i-tokushima.jp/>

ー ありがとうございました!!

大館市木育キャラバン(R4.9.24~25/第32回大館市生涯学習フェスティバル)



木育推進事業部
吉原 裕美さん

木育推進事業部
橋坂 智子さん



メッセージ（芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館 橋坂さん・吉原さん）

取材日：R4.9.25

2019年より大館市では、毎年”木育キャラバン”を開催していただいております。コロナ過でも子どもを始めとする地域の方に楽しんでもらいたい!という、大館市の皆さまの熱い思いと柔軟なご対応に感謝です!そして今回は、初めて大館市産材のクリ材を帰省させることができました。次回はまた異なる色味になっているはずですので、お楽しみに!

— ありがとうございました!!